

応援券事業見直しに向けた基本的な方向（案）

子育て応援券事業は、他の現物サービスと相まって、在宅家庭を含むすべての子育て家庭への効果的な支援策としての役割を果たしている。これまでの成果を踏まえつつ、利用実績等から見えてきた課題を改善する方向で大幅な見直しを図ったうえで、応援券事業は継続していくこととする。

応援券事業の継続にあっては、事業目的である、子育ての不安感・負担感の解消、地域とのつながりづくりの観点から、子育て家庭のニーズに即し、サービスを必要とする人に必要なサービスが適切に提供される仕組みとして、再構築を図る。

応援券の交付方法については、歳児別の、子どもの状況や子育て支援ニーズに応えられるようするため、無償交付と有償交付を適切に組み合わせるなど、必要な見直しを図る。

サービスについては、その内容と応援券事業の目的（子育ての不安感・負担感の解消、地域とのつながりづくり）との関係が、より分かり易いものとなるよう、見直しを図る。